

新規入院

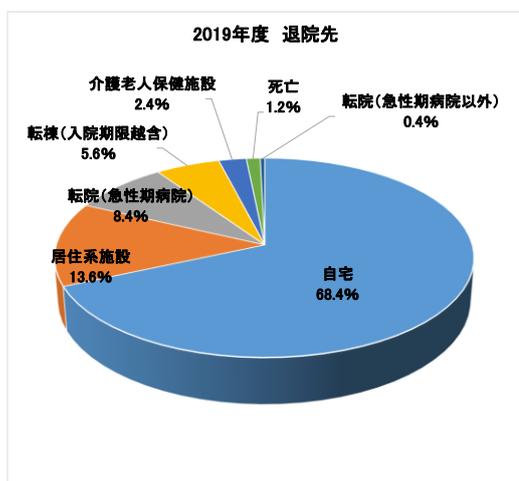
	患者数(人)	平均年齢(歳)	重症者割合(%)
2019年度	248	83.3	39.9

重症者とは、回復期病棟に入院した患者様のうち、寝返りや他者への意思の伝達など、日常の基本的動作の13項目について、「日常生活機能評価」を用いて評価したものです。

退院

	患者数(人)	在宅復帰率(%)	重症改善(4点以上)率(%)
2019年度	250	90.7	74.4

・重症者改善率とは、入院時の重症患者様のうち、退院時の日常生活機能評価が入院時から比べ4点以上減点(改善)した患者様の割合を示しています。  
 ・在宅復帰率とは、退院患者様が自宅・居住系介護施設に帰られた割合を示しています。

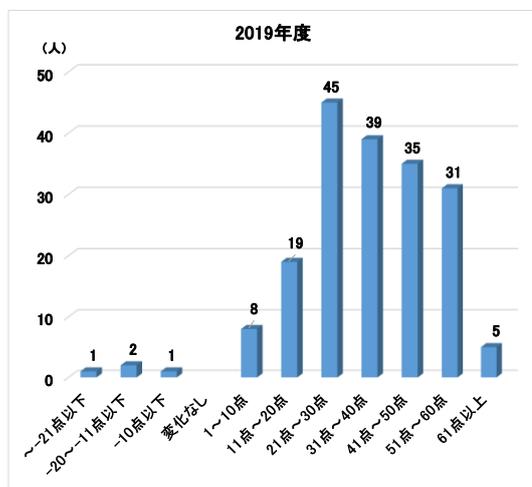


アウトカム評価

	対象患者数	リハビリテーション実績指数
2019年度	186	47.1

・リハビリテーション実績指数とは、「入院から退院に至るまでのADL改善」と「在院日数」から算出され、「27未満」はリハビリ効果が低く、高いほど効果も高いと判断されます。また、基準がいくつか設定されていて「37以上」は最も高い基準となっています。

対象患者のADL利得(FIM)



ADLが入棟時に比べて退棟時にどの程度改善(退棟時FIM-入棟時FIM)したかを示しています。点数が高いほどADLがより改善(=介護の必要性が低い)しています。  
 ADLとは、食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動です。その評価法は「FIM」(Functional Independence Measure)で、点数が高いほどADLが高い(=介護の必要性が低い)という結果です。